

今年創業50周年を迎え4月10日には祝賀会も開いた

「コーサイ」は建築金物（金属製の建築部材）を専門とする一般建築工事業者。販売・施工だけでなく、本社に併設した第一、第二工場のほか、中沼工場（札幌市東区東雁来）で部材の製造や加工もしている。

創業は1965年で親松茂会長が26歳で起業した「幌西金物」が母体。76年に「幌西金属工業」に社名変更、97年に現社名にした。社名は創業時の社屋（中央区南8西12）と近かった幌西小学校に由来する。

熟練工が在籍しているため、あらゆる金属の加工を得意としており、大規模モニュメントやオーダーメイドの装飾部品の製作依頼にも対応できる。

「パース（完成予想図）さえあれば一から設計図を起し、製作、取り付け工事までおこなえます」と親松会長は胸を張るとおり、高い技術力を背景にかゆいところに手が届くサービスを展開。お客さまの孫の手になる。を合言葉にものづくりをしてきた。

株式会社 **コーサイ** 創業50周年記念祝賀会



親松誠一社長（左）と親松茂会長

看板や内外装、モニュメント製作など金属部材のプロ集団

①コーサイ

札幌市東区東雁来8条1丁目16-10
TEL 011-791-3243 <http://www.kk-kosai.co.jp/index.html>

特に公共施設やビル、マンションなどで用いられる手すりの分野（アルミ・スチール・ステンレス製など）では道内95%という驚異的シェアを誇っている。また屋外広告やサイン看板も数多く手がけており、金融機関、百貨店、ホテル、オフィスビル、カーディーラーなど多業種で使われている。

「道民なら一度は目にしておられる北海道拓殖銀行の店名プレートは、全道124支店の全て

を当社が製作。現在ではレーザー加工によって1日程度で簡単につくれますが、当時は流し込み技術など弊社にしかできない手法も多かった。半月ほどかけて丁寧に仕上げていました」と親松会長。

また、近代的な建築に欠かせないアルミなど金属製のパネルを用いた屋根や外壁、内装の施工技術も卓越しており、2009年には「大通地下歩行空間」の特徴的な金属製天井部分も同社が中心となって施工。10年には東京出張所も構え、首都圏の駅舎、病院、工場、学校など大規模工事も手がけた。12年には小樽市指定文化財である「日本銀行旧小樽支店」の屋根部分の改修工事も任せられた。

今年創業50周年を迎え、新体制に移行。4月からは親松誠一氏が新社長に就任した。親松社長は「従業員とお客さまに支えられた半世紀でした。これからも地場産業としてもものづくりの素晴らしさを伝えていきたい」と話している。



本社には工場も隣接